

Archet

MUSICAL INSTRUMENTS
DOAF'S





Archet

名工の エスプリ ESPRITが宿る弓

思いのままに演奏できる操作感、楽器のもつ力を余すところなく引き出す表現力、究極の道具へのこだわりが生み出す芸術的なフォルム——トルテに代表されるオールド・フレンチの名弓は、一流演奏家をして体の一部と言わしめる最高の「道具」であり「楽器」です。

名弓の秘密をひも解き、現代の弓づくりに活かすことで、すべての弦楽器愛好家に「演奏する喜び」を提供したい——そんな想いを抱き、私たちアルシェの歴史は始まりました。アルシェの弓はフレンチの名工たちの究極のこだわり=エスプリを宿す3つのグレード「プロフェッショナル」「ハイグレード」「スタンダード」で展開してまいります。また基本ラインナップに加え、嗜好性の高い「スペシャル」シリーズもご用意しました。アルシェならきっと理想の弓をお選びいただけることでしょう。

弓づくりの原点

18世紀、イタリアでストラディバリらが数々の名器を生み出していた時代、弓はまだ楽器の付属品として製作されていました。やがて19世紀が近づき、宫廷音楽として発展したクラシック音楽が市民へと拡がりを見せるようになると、パガニーニを代表とする演奏の名手たちが登場します。楽器は大きなホールで使用されるようになり、そうした環境でも楽器の性能を充分に引き出すことができる弓が必要となったのです。

フレンチ・ボウの創始者F.X.トルテは「弓づくりのストラディバリ」と呼ばれ、時計職人時代に習得した知識と技術を駆使して、新しい弓づくりに取り組みました。弾性と耐久性に富んだブラジル産「フェルナンブーコ」材を導入し、今までにない精巧なメカニズムと精緻な装飾性を実現するなど独自の工夫を重ね、弓を単なる付属品から独立した「楽器」へと高めることに成功したのです。

フレンチ・ボウへの正しい理解と探究心を胸に

D.ベカット、J.B.ビヨーム、F.N.ボワラン、E.サルトリー——その後もフランスでは、トルテの流れを汲みながら数々の名弓が生み出されていきました。ベカットはトルテ後期の作品を基礎にしながら金属スライドを導入するなどの改良を重ね、独自の力強い表現力をもった名弓へと結実させました。またサルトリーはトルテ初期の作品にその美的感覚を見出しながら、更に演奏性の高い弓を追求することでモダン・ボウの最高傑作を生み出しました。

私たちは伝統の正しい理解なしに優れた弓を生み出すことは不可能であると考え、設立の当初からトルテをはじめとした古今の名弓入手し、真摯に研究を重ねています。幾多の名弓を生み出した、フレンチの名工たちもまたそうであったように…。

Column #1

FRANÇOIS XAVIER TOURTE

フランソワ・グザビエ・トルテ～フレンチ・ボウの創始者～

フランソワ・グザビエ・トルテ（1747-1835）は「弓づくりのストラディバリ」と呼ばれ、史上最高の弓製作作者と称えられる。当初は時計職人であったが、のちに弓づくりに転向し、当時の名バイオリニストビオッティの協力のもと、それまでの弓に画期的な改良を加え、弓の完成度を著しく高めた。弓の長さ、ヘッドとフロッグ形状の見直し、フェルナンブーコ材の採用、精度の高いフロッグの発明などが代表的な例であり、当時の演奏家の要求を満足させる優れた弓を数多く生み出した。オークションで数千万円の高値で取引されるなど、現代においてもその性能だけでなく美術品としても高い評価を受けている。



「世界最高の弓をつくろう」

ゼロからの弓づくり～世界が認めるトップブランドへ

アルシェは、株式会社文京楽器と株式会社プリマ楽器の共同出資により1983年に設立されました。文京楽器は国産楽器ブランド「ピグマリウス」を立ち上げて数年が経っていましたが、納得して合わせることのできる弓はありませんでした。特に子供用の弓は大人用を短く切っただけのもので、すでに発展していた日本の幼児音楽教育に見合うものではありませんでした。また当時欧米にもこうした要望に応えてくれるメーカーがなかったこともあり「世界最高の弓を、自らの手で作り出そう」——そんな志のもと、私たちの弓づくりが始まったのです。

しかしノウハウがほとんどない状態からのスタートは、予想以上に困難なものでした。フェルナンブーコ材をはじめとした原材料の入手から始まり、専用工具や設備、優秀な職人の養成など試行錯誤の連続でした。また真摯に学ぶという視点から、海外から著名な弓製作家を招いたり、スタッフを渡欧させたりして教えを乞い、徐々に合理的かつ創造的なフレンチスタイルの弓づくりの真髄を会得していきました。一方で国内外で活躍する一流演奏家を頻繁に訪ね、納得していただけるまで弓を作り直すことを繰り返し、プレイヤーの望む弓が何であるかを体当たりで学んでいきました。

こうした努力が実を結び、「95年には世界的バイオリニストであるピンカス・ズッカーマン氏に弓を納品、「最高のプレイングボウ」との賛辞をいただくことができました。ほかにも国内外の数多くの一流プレイヤーや弦楽器指導者にご愛用いただいております。

また'90年代よりスタートした国際製作コンクールへの挑戦では、「94年に弊社職人の大瀬国隆がVSA製作コンクール・チェロ弓部門でゴールドメダルを獲得。アルシェのクオリティーの高さを世界に証明することができました。



アルシェ、可能性への飽くなき挑戦

フェルナンブーコをはじめとする弓作りに必要な原材料は、現在ますます貴重なものとなっています。私たちはメーカーとしての責任のもと、こうした地球の恵みを余すところなく活かし、新しい時代に相応しい弓を創造していきたいと考えています。そしてフレンチ・ボウへの尊敬を忘れることなく、弓作りを通して豊かで文化的な生活に貢献してまいります。

もっと弾きやすい弓とは？ もっと音色の良い弓とは？ もっと美しい弓とは？——常に自問自答を重ねながら、世界最高の楽弓メーカーを目指し、私たちの可能性への挑戦はこれからも続きます。



世界が認めた現代の名弓 “CUNIOT HAUSSET”

クニヨ・オーセ
CUNIOT HAUSSETはアルシェのフラッグシップブランド。1994年VSA国際
製作コンクール・チェロ弓部門で見事ゴールドメダルを獲得したアルシェのトップ
おおぜくにかか
職人、大瀬国隆にちなんで名づけられました。

フレンチ・ボウの伝統を受け継ぐ自負のもと、オールド・フェルナンブーコから
厳選した素材を使い、名弓を徹底的に研究することで培った美的感覚と工作
技術を駆使して製作しています。

高い演奏性はもとより豊かな表現力は国内外のプロ演奏家にも高い評価を
いただいており、まさに世界が認めた現代の名弓と呼ぶに相応しい逸品です。



PROFESSIONAL BOWS
CUNIOT HAUSSET

CUNIOT HAUSSET VIOLIN BOW

TOURTE SOLO



弓のストラディバリ「F.X.トルテ」をもとに製作されたモデル。力強いハチエット(マサカリ型)ヘッドとオクタゴン(八角)スティックが特徴的、トルテ黄金期の作品を採用しました。フロッグには大きめのパリジャンアイ(二重目)を施し、ゴールドと最高級の貝を手元部分に至るまで精巧な装飾技術でちりばめました。名弓トルテの豊かな音色と多彩な表現力を再現した、現代の名弓です。



CUNIOT HAUSSET CELLO BOW

TOURTE SOLO



アルシェのトップ職人大瀬国隆がVSA国際製作コンクールでゴールドメダルを獲得したCUNIOT HAUSSETを代表するモデル。「F.X.トルテ」後期の作品にインスピライアされて設計しました。宝石のような輝きを持つ最高級のフェルナンブーコ材を厳選し、力強いハチエットヘッドとオクタゴンスティックに仕上げています。自由自在な弾き心地と豊かな音色を実感していただけることでしょう。



- フレンチ・スタイルを昇華させたモデルを最高のフェルナンブーコ材で製作

CUNIOT HAUSSETは、数あるフレンチ・ボウの中でも評価の高いトルテ、ペカット、サルトリイーを基本モデルとして採用。さらに一流プレイヤーとの研鑽で培ったノウハウをふんだんに注ぎ込み、アルシェならではのスタイルに昇華させています。宝石のよう評される最高級のオールド・フェルナンブーコ材を使用し、SOLO/PROの2グレードで展開しています。

- ディテールの徹底した追求で表現する名工のエスプリ



名弓を手に取りつぶさに観察すると、名工達がおこなった幾多の工夫を読み取ることができます。どの角度から眺めても隙がない——最高の道具にはそんな美しさがあります。CUNIOT HAUSSETではディテールを大切に製作することで、名工の魂を表現、フレンチ・ボウの神髄に迫ります。

- 国内外の一流プレイヤーが認めた現代の名弓

CUNIOT HAUSSETは、P.ズッカーマン、千住真理子、漆原朝子、木越洋など国内外の一流演奏家にその実力を認められ愛用されています。



SPECIAL BOWS

ESPRIT & ATELIER

フレンチの名弓をそのまま現代に蘇らせたレプリカ・ボウ
エスプリ、アルシェの職人たちの創造性を存分に發揮したオリジナル・ボウ アトリエ。弓作りを知りつくしたアルシェこだわりのシリーズです。



■ 現代に蘇るレプリカ・ボウ “ESPRIT”

名工のこだわりを細部にいたるまでオリジナルに忠実に再現。オーソドックスな名弓に限らず、個性的な名弓もモデルとして製作します。

ESPRIT VIOLIN BOW

PERSOIT



D.ペカットの師、J.ペルソワの完全レプリカ。大きめのヘッドと素朴なフォルムが特徴です。少し使い込まれた風合いを再現するべくアンティーク仕上げを施し、個性的な逸品に仕上げました。



ESPRIT CELLO BOW

VUILLAUME



弓の世界に新しいスタイルを試み、大きな功績を残したビヨームのチェロ弓を徹底再現。ビヨーム式と呼ばれるステイックとフロッギングの接触面を円形にしたスタイルが特徴です。



ESPRIT MASTERPIECES COLLECTION

ESPRITシリーズでは各時代を彩った名弓のレプリカを製作することができます。

TOURTE FRANÇOIS XAVIER

ADAM JEAN

PERSOIT JEAN PIERRE MARIE

PAJEOT ÉTIENNE

VUILLAUME JEAN BAPTISTE

PECCATTE DOMINIQUE

VOIRIN FRANÇOIS NICOLAS

LAMY JOSEPH ALFRED

SARTORY EUGÈNE

THOMASSIN CLAUDE AUGUSTE

■ 個性が光るパーソナルブランド・ボウ “ATELIER”



フレンチスタイルを基礎に、アルシェの職人が工夫を凝らしたモデルで製作。ブランドにはそれぞれ職人の名前を冠しています。

※ATELIERシリーズは限定製作です。詳しくはお問い合わせください。

ARTISANS D'ARCHET

Column #2

PECCATTE & SARTORY

トルテに迫るフレンチの2大名工

ドミニク・ペカット (1810-1874)



トルテとともに19世紀を代表する弓製作家。最初にビヨームの工房で研鑽を積んだあと、リュボの工房を引き継ぐ形で独立した。ペカットの弓はトルテ後期の弓を発展させたもので、ハチett (マサカリ型) ヘッドが特徴。一流演奏家やコレクターから高い評価を受けており、オークションではトルテに次いで高値で取引される。

ユージン・ニコラ・サルトリー (1871-1946)



フレンチ・モダン・ボウを代表するメーカー。父に弓作りを習ったあとシャルル・ペカットやラミーの工房で研鑽を積み、若くして独立。複雑な楽曲においても安定して演奏ができるよう工夫を重ね、現代弓の完成形を創りだした。サルトリーの弓はトルテ前期の弓を発展させたもので、スワンヘッドが特徴。近年最も人気が高いフレンチ・ボウのひとつ。



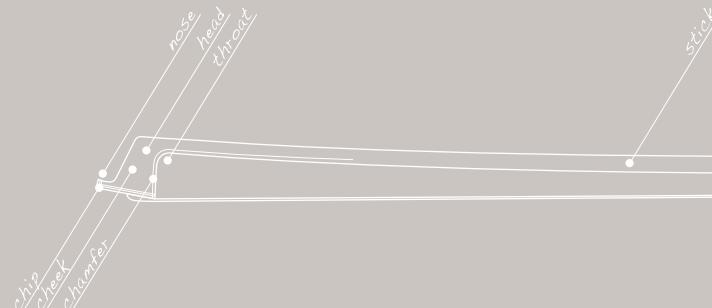
フレンチ・ボウの音色と操作性、細部にこだわったフォルムを理想として

アルシェの理想はフレンチの名弓。豊かな音色と優れた操作性、力強さとしなやかさを併せ持った弓です。

また、フレンチ・ボウの美観も重要なファクターのひとつと捉え、材料の選択から細部の工作、装飾に至るまで細やかに気を配り、美しさと機能性が調和した弓づくりを目指しています。

世界に通用するメイドインジャパン・ブランド

1983年に弓の専門メーカーとしてアルシェが設立されて四半世紀余り。数少ない楽弓国産ブランドとして国産にこだわり、国内外に良質の弓を提供してきました。国際製作コンクールでの受賞や海外著名演奏家に納品を果たすなど、アルシェのクオリティは世界で認められています。



名弓の研究や一流製作家・演奏家との交流で育まれた、独自のノウハウを駆使

アルシェは25年以上に渡って独自のノウハウを蓄積しています。トルテ、ペカット、サルトリーをはじめとする名弓を世界から入手して研究を行うと同時に、国内外の著名な製作家や演奏家に教えを乞いながら常に技術の向上を図ってきました。

アルシェの弓には、こうした試行錯誤の繰り返しから会得した貴重なノウハウが注ぎ込まれているのです。

世界から取り寄せた貴重な原材料を使用

良質な弓を製作するためには、優れた技術だけでなく良質な原材料が不可欠です。設立当初からこのことに着目していたアルシェは、最高品質のフェルナンブーコを求めてブラジル現地を訪れ、精力的にその入手に取り組んできました。

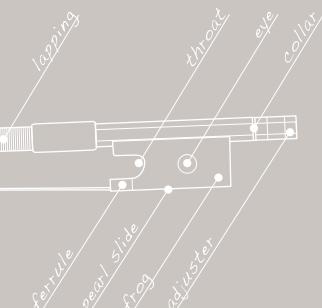
ほかにも黒檀や馬毛、装飾に使われる貝や金属、ラッピングや手皮の材料にいたるまで、世界から集められた貴重な材料がふんだんに使われています。

ユーザーに優しい安心の品質と一年保証

アルシェでは「木工製品である楽弓は、弾き込みながら使い込んでいくもの」との信念のもと、何度も毛替え・調整が行えるよう、材料の選択から製作にいたるまで伝統的な技法を踏襲して製作しています。

また常に最良の状態で演奏していただきたいとの願いから、各工程で厳しい検査体制を導入。さらに万全を期すため業界では画期的なメーカー1年保証もご用意しました。

*詳しくは製品添付の保証書および取り扱い説明書をご覧ください。



HIGH GRADE BOWS SONORE



フレンチへのこだわりが生んだ
高機能ボウ “SONORE”

ソノール
SONOREとは音楽用語で「朗々と響きわたる」という意味。名弓の特徴を洗練させることで、今までにない高機能を実現したいと願って名付けました。

職人が上質のフェルナンブーコ材と対話するように一本一本仕上げた弓は、こまやかな表現を可能にする優れた演奏性と豊かな音色を実現しています。ワンランク上を目指す上級プレイヤーにもきっとご満足いただける弓です。



HIGH GRADE BOWS

SONOREはメタル部分にゴールドをあしらった「TRAD-G」とシルバーをあしらった「TRAD-S」がお選びいただけます

SONORE VIOLIN BOW

PE TRAD-G

D.ペカットの理想形を追求したPEモデル。上質フェルナンブーコ材をペカット特有のやや大きめのハチエット(マサカリ型)ヘッドにカットし、スティックも直線的に削り上げました。金具にはゴールドを施し高級感のある弓に仕上げています。力強い音色・音量が特長の一本です。



SONORE VIOLIN BOW

SA TRAD-S

E.サルトリーの理想形を追求したSAモデル。上質フェルナンブーコ材をエレガントなスワンヘッドにカット、スティックも流線形に仕上げました。金具に上質なシルバーを施した、気品のある仕上げとなっています。バランスよく優美な音色が特長の一本です。



SONORE CELLO BOW

TO TRAD-S

F.X.トルテ後期の弓を手本として設計されたTOモデル。中身の詰まった硬質フェルナンブーコ材を厳選し、スティックをオクタゴンに削りだすことで、力強く深みのある音色を実現したワンランク上のチェロ弓です。

※チエロはシルバー搭載のTRAD-Sのみ



●あなたの演奏スタイルと、楽器との相性から選べるハイグレード・モデル

SONOREシリーズは十分にシーズニングされた上質フェルナンブーコ材を使用して製作されています。名弓を基調としたモデルからお好みに合わせてお選びください。

VIOLIN & VIOLA	PE D.ペカットモデル：力強く重厚な音 SA E.サルトリーモデル：バランスがよく優美な音 TO F.トルテモデル：明るく輝かしい音
CELLO	SA E.サルトリーモデル：バランスがよく優美な音 TO F.トルテモデル：力強く温かみのある音

●世界から集めたこだわりの素材

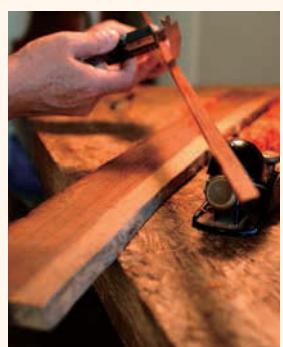
SONOREシリーズに使われる原材料は、どれもこだわりの逸品ばかり。フェルナンブーコは現地ブラジルで調達した上質のもの。主にフロッグ材として使われる黒檀は東南アジアから。弓毛に使われる馬毛はカナダ産を使用。装飾に使われる貝は日本のトコブシやアワビ。ラッピングの銀糸(絹糸に細い銀を巻きつけたもの)は本場フランスから。アクセントに使われる色絹糸はヨーロッパだけでなく発色のよいものを京都西陣から取り寄せています。SONOREの弓には世界から集めたこだわりの素材がちりばめられているのです。

Column #3

PERNAMBUCO

フェルナンブーコの話

フェルナンブーコはブラジル原産のマメ科の常緑高木。パウ・ブラジル(ブラジルの木の意。国名はこの木から名付けられた)と生物学的な違いはないが、赤道近くの東部ブラジルに位置するペルナンブーコ州でとれる材木が最も高級であるため、通常区別してフェルナンブーコと呼ぶ。弾性、耐久性、美観に優れており、弓作りに最も適した材料である。赤い染料ブラジリンを大量に含むため、昔は染料として利用されていた。その後も高級家具や調度品に使用するため過度の伐採が進み、絶滅の恐れがあるとして絶滅危惧種に認定されている。現在ではワシントン条約によりその取引が制限されている。



独自のフェルナンブーコ・グレー

ARCHET A TOKIO VIOL
SA1006



ARCHET A TOKIO VIOL
PE1005



ARCHET A TOKIO VIOL
SA2005



STANDARD BOWS
ARCHET



STANDARD BOWS

ディングシステムに基づき、シルバーモデルの「ARCHET A TOKIO」とニッケルシルバーモデルの「ARCHET」のブランドで展開しています。

IN BOW

厳選した良質フェルナンブーコを使用。
操作性に優れバランスの良いサルトリー
(SA) モデルに仕上げました。



IN BOW

厳選した良質フェルナンブーコを使用。
音量が豊かで力強いペカット(PE)
モデルに仕上げました。



A BOW

厳選した良質フェルナンブーコを使用。
バランスが良く安定感のあるサルトリー
(SA) モデルのビオラ弓です。



ARCHET CELLO BOW

SA3003



良質フェルナンブーコを使用。取り回しがよく初心者でも扱いやすいサルトリー
(SA) モデルのチェロ弓です。



ARCHET A TOKIO CONTRABASS BOW

HO4005



厳選した良質フェルナンブーコを使用。
弾きやすく音量が豊かなホイヤー(HO)
モデルのジャーマン式ベース弓です。



ARCHET FOR CHILDREN

未来を担う子供達に音楽の喜びを知って
もらうためにも、弾きやすく音の良い分数
弓を提供することが我々の使命と考えて
います。各サイズごとに最適な設計のもと
一本一本丹念に仕上げています。



●弾きやすさを大切にした設計

ARCHETシリーズは初めての方でも取り扱いやすいよう弾きやすさを重視した設計です。大人用サイズは安定感がありバランスのよいサルトリー(SA)モデルを、分数弓では弓が浮きやすいためヘッドの大きなペカット(PE)モデルを基本としています。

| SA サルトリーモデル：安定感がありバランスがよい万能タイプ

PE ペカットモデル：やや先重のバランス。音量がほしい方向き

* チェロは分数も含めてSAモデルのみ、コントラバスはHO(ホイヤー)ジャーマン式。
詳しくは価格表をご覧ください。

●はじめてでも安心の品質保証制度

「弓は弾き込みながら使い込んでいくもの」との信念のもと、
アルシェでは何度も毛替え・調整が行えるよう製作しています。
また常に最良の状態で演奏していただくため、各工程で厳しい
検査と温湿度管理を実施。万一に備えてメーカー1年保証も
行っています。

Column #4

REHAIRING

毛替えとメンテナンスの話

馬の尻尾である弓毛には、人間の髪と同じキューティクルと呼ばれる突起があり、そこに松脂が付着して音が出ます。これが擦り減ってしまうと音が出にくくなります。毛替えは弦楽器に必要不可欠なメンテナンス。普通のレッスンなら半年に1回、最低でも年に1回は行いましょう。



長く弓をお使いいただくには？

●演奏が終わったら必ず弓毛を緩めてそのままにしておくと弓が変形したり、バランスが崩れることができます。

●松脂のつけ過ぎに注意

ステイックを傷めたり、動きが悪くなる原因となります。演奏後は松脂などの汚れを布で軽く拭き取る習慣を。良質な松脂を使うこともポイントです。

●おかしいな？を感じたら

自分で修理せず、専門家に相談を。弓は修理・調整ができるよう設計されています。年に1回は専門家に全体の健康診断をしてもらうとよいでしょう。



Archet

製造元：

 株式会社 アルシエ

〒250-0876 神奈川県小田原市中新田328-3
Tel: 0465-48-8851 Fax: 0465-48-1975
URL: <http://www.archet.co.jp/>
E-mail: support@archet.co.jp

※製品の価格及び仕様は、改良などのため予告なしに変更することがあります。